

浮遊粒子状物質の測定結果（平成24年度）

大気中の浮遊粒子状物質は、大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が10 μ m（ μ m＝千分の1mm）以下のものをいいます。自動車の排ガスや工場からのばい煙に加え、微小な黄砂粒子なども含まれるため、黄砂が観測された日に高値を示すことがあります。

平成24年度に、浮遊粒子状物質について19測定局（自動車排出ガス測定局4局を含む。）で測定した結果は、下表のとおりであります。

年平均値は、大垣中央測定局の0.022mg/m³が最も高い状況にありました。

なお、長期的評価に基づく環境基準は、すべての測定局で達成しました。

地域	測定局名	有効測定日数(日)	測定時間(時間)	年平均値(mg/m ³)	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値(mg/m ³)	日平均値の2%除外値(mg/m ³)	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	長期的評価の適否適○否×	平成23年度	
					時間	%	日	%					年平均値(mg/m ³)	長期的評価の適否
岐阜	岐阜中央	365	8,734	0.014	0	0.0	0	0.0	0.155	0.042	無	○	0.015	○
	岐阜南部	365	8,727	0.015	0	0.0	0	0.0	0.109	0.046	無	○	0.016	○
	岐阜北部	364	8,730	0.017	0	0.0	0	0.0	0.098	0.046	無	○	0.016	○
	各務原	365	8,728	0.017	0	0.0	0	0.0	0.081	0.044	無	○	0.017	○
	平均			0.016									0.016	
西濃・羽島	羽島	356	8,528	0.017	0	0.0	0	0.0	0.120	0.042	無	○	0.021	×
	大垣中央	290	7,086	0.022	0	0.0	0	0.0	0.106	0.059	無	○	0.023	○
	大垣南部	365	8,724	0.014	0	0.0	0	0.0	0.128	0.037	無	○	0.015	○
	大垣西部	227	6,109	0.013	0	0.0	0	0.0	0.089	0.039	無	○	0.021	×
	大垣赤坂	311	7,587	0.035	0	0.0	0	0.0	0.143	0.071	無	○	0.039	—
平均			0.020									0.024		
可茂	美濃加茂	360	8,637	0.013	0	0.0	0	0.0	0.100	0.038	無	○	0.013	○
東濃西部	笠原	365	8,727	0.015	0	0.0	0	0.0	0.079	0.039	無	○	0.016	○
	土岐												0.022	○
	瑞浪	365	8,732	0.014	0	0.0	0	0.0	0.074	0.035	無	○	0.016	○
	平均			0.015									0.018	
恵那・中津川	中津川	356	8,545	0.017	0	0.0	0	0.0	0.087	0.041	無	○	0.015	○
飛驒	高山	365	8,723	0.013	0	0.0	0	0.0	0.078	0.034	無	○	0.013	○
乗鞍		276	7,276	0.006	0	0.0	0	0.0	0.086	0.019	無	非適用	0.007	非適用
県平均				0.017									0.019	
岐阜明德自排		364	8,737	0.017	0	0.0	0	0.0	0.153	0.043	無	○	0.017	○
大垣自排		364	8,737	0.021	0	0.0	0	0.0	0.099	0.050	無	○	0.021	○
可児自排		351	8,458	0.016	0	0.0	0	0.0	0.081	0.033	無	○	0.012	○
土岐自排		364	8,724	0.021	0	0.0	0	0.0	0.087	0.046	無	○	0.021	○

備考) 1 県環境管理課調べ

2 環境基準の長期的評価に適合しているとは、測定時間が年間6,000時間以上あり、日平均値が0.10mg/m³を超えた日が2日以上連続せず、かつ、日平均値が0.10mg/m³を超えた日数が年間を通じて2%以下であることを示す。

3 県平均に、乗鞍測定局、自動車排出ガス測定局は含まない。

4 「長期的評価の適否」の欄の「—」は、年間の測定時間が6,000時間に満たないことを示す。